

# 2018年度事業報告書

( 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 )

## 事業の概要

1. 奨学給付費 計 64,940,000 円

- (1) 大学生49人に対し、月額5万円の奨学金を支給した。  
(49人 × 5万円 × 12ヶ月 = 29,400,000円)
- (2) 大学院生22人に対し、月額6万円の奨学金を支給した。  
(22人 × 6万円 × 12ヶ月 = 15,840,000円)
- (3) 外国人留学生8人に対し、月額10万円の奨学金を支給した。  
※内1名、9月で卒業(退団)のため5ヶ月の支給  
※内1名、2018年度休学となり、支給休止  
(6人 × 10万円 × 12ヶ月 = 7,200,000円)  
(1人 × 10万円 × 5ヶ月 = 500,000円)
- (4) 海外奨学生12人に対し、月額10万円の奨学金を支給した。  
(6人 × 10万円 × 12ヶ月 = 7,200,000円)  
(6人 × 10万円 × 8ヶ月 = 4,800,000円)

2. 奨学生補導費 計 6,926,025 円

- (1)9月大阪にて奨学生認定式を行い、役員及び選考委員が出席して、奨学生を激励した。同時にパッケージに関する研修を行い、パッケージに関する知識を深め、そのレポートを提出させ補導を行った。  
同日午後、卒業生を含めた交流会を開催し、意見交換の時を持った。
- (2)9月に就職活動を迎える学年の希望者を募り就職セミナーを開催した。  
就職活動の取り組み方についてアドバイスをし、奨学生の就職活動に対する不安の解消をはかった。
- (3)10月に奨学生を集め国際包装展“東京パック2018”の見学会を開催し、パッケージに関する知識を深めるとともに、見学会で得た知識や経験を基に意見や感想等をグループ討議で共有し、その結果を個人レポートとして提出させ、補導を行った。
- (4)10月に欧州、米国の海外奨学生をそれぞれの地域で集め、認定式及びパッケージに関する研修会を行い、補導を行った。

3. 事業運営費 計 12,023,498 円

奨学金給付事業のための運営費

---

合計 83,889,523 円

---